中山道69次を歩く

64期 女性

昨年、還暦を迎えた64期の女性たちが第2の人生を過ごすにあたり、気軽に交流できるよう、メーリングリストを作りました。交流第1番目の企画として、中山道を歩いてみることにしました。

お江戸日本橋を出発して、京都三条大橋までの533キロを昔の旅人は約15日で歩いたといいます。逆算すると、1日約35キロ。私たちの旅はもう少しゆっくり、電車なども利用して、中山道の名所旧跡や69宿を訪ねるものです。

第1回は4月25日、雨の中を日本橋・道路元標に集合し、旅が始まりました。三越百貨店（越後屋）前から、日本橋室町を通り、神田へ。神田明神にお参りする予定が、合格祈願のメッカ・湯島天神に旅の無事をお願いし、本郷通りを歩いて東大の赤門（加賀藩邸表門）へ。さらに白山通りを通り、おばあちゃんの原宿として賑わう巣鴨へ。ここでとげぬき地蔵に水をかけて、頭、胸、腰、ひざをふき清めて無病息災をお願いしました。

「旧中山道」の標識を頼りに、ひたすら歩いて「これより板橋宿」の看板を発見。板橋宿は、中山道第1番目の宿場。今でも宿場の面影が残るだけでなく、商店街としてもにぎわっていて驚きました。宿の中央を流れる石神井川には名の由来である板の橋が復元して架けられ、たもとには「日本橋から十粁六百四十二米・距日本橋二里二十五町三十三間」の標識が立てられていました。

中山道はこの先の荒川を舟で渡りますが、私たちは電車で通過し、第1回の旅はここで終わりにしました。

第2回は6月7日、蕨宿から始まります。64期の女性が歩くペースに合わせてくれる方なら、どなたでも参加は可能です。希望の方は、「中山道の旅希望」としてメールアドレスを登録してください。

清水

54期が上田城公園で花見会

五四期会は4月19日、上田城跡公園で恒例の花見会を行った。花見会は07年以来3回目だが、名古屋や静岡、関東から集まった仲間たちは「やあ、久しぶりだな」「太ったなあ」と言いながら笑顔で握手するなど、雰囲気は良好。温暖化の影響で桜の開花が早く、満開時を3、4日過ぎていたが、快晴にも恵まれ、花見は盛会裏に終始した。

山口正義幹事長が適切なリードで、でこぼこの砂利の地面に段ボールやシートを敷いてくれた。座布団まで用意してあったので、女性陣には好評だった。

06年10月に「エクシブ軽井沢」で、高校卒業50周年記念総会を開催し、女性8人を含む90人が参加した。このとき、「上田で花見会をやろう」という話がまとまり、翌年には上田城跡公園で第1回の花見会を開催した。この時、小山盛夫会長をはじめ、植樹実行委員長の岡崎光雄氏が中心となって、シダレザクラ1本とソメイヨシノ2本を公園内に植樹した。幹事の春日勇治郎、柄沢衛、小林連司各氏や関東役員の市河富弘、倉島彰両氏も植樹に協力したが、大変な苦労だったという。

花見の席には、おでん、やきとり、おやき、季節の山菜天ぷら、塩田産米のおにぎり、漬け物、焼きそば、ビール、酒、焼酎などが出され、満喫した。雲がない晴天でまぶしいくらいで、日焼けにも気を使った。

小山会長は植樹した場所を54期にかけて「五色ヶ丘」と命名した。生徒や地元の皆さんの憩いの場になってほしい。

有賀俊雄（54期）

65期同期会

来年、上田高校創立110周年記念事業が行われます。募金が予定されていますので関東の同期生諸兄におかれましても、よろしくお願いいたします。

六五会：65期同期生有志よりなる親睦会です　*ゲスト大歓迎*

六五会開催日とメンバー

▶毎月：21日午後7時～
▶場所：上田市内の飲食店

青松秀和、上野政博、小山田秀士、小出俊、輿水章比古、小山寿一、島田甲子雄、中村幸男、永井寛、羽田義久、丸山幸雄、安川荘太郎、矢島好高、柳沢英明、吉田一雄、若林健

布施修一郎
連絡先：0268-22-1443
090-1663-6363
ichirido@po3.ueda.ne.jp

isshu 秀

株式会社　一秀

木目込み雛人形の専門メーカー

〒121-0815
東京都足立区島根2-31-23
TEL 03-3859-3131
FAX 03-3885-2373
URL http://www.isshu-hina.com

代表取締役
木村公平
（63期、ハンドボール班）